

ご挨拶

日本に、世界水準のレジャーや教育、セラピーとしてのスヌーズレン/MSE (Multi-Sensory Environment) を位置付けることを目指して、本研究所を2015年6月に設立しました。早いもので本年で4年目を迎えます。本研究所の活動は、これまでサポート研究員をはじめ、多くの方々の温かいご理解とご協力により支えられて今日に至っております。皆様に心からお礼を申し上げます。以下、本年度の主な活動計画を述べさせていただきます。

本年1月末には、機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究 第2号」を発行いたします。論文をご投稿いただいた皆様に心より感謝いたします。今回から1論文につき2名の査読制を導入し、また「報告」を除いたすべての論文に英文抄録を載せ学術誌としての体裁を整えました。本機関誌は、国内外のスヌーズレン/MSEのレジャー・教育・福祉・医療等に関する専門誌として、今後国際的に各方面から活用されることを期待しております。

次に、本年12月までに、今後の研修会や資格セミナーで使用するテキスト『スヌーズレンの理論と実践方法』を出版します。現在、サポート研究員をはじめ多くの皆様にご執筆いただいております。これまでわが国に、スヌーズレンの理論と具体的な実践方法を網羅した基本テキストがなかったため、実践現場ではさまざまな捉え方がなされ、ある意味では混乱さえしているとも言えます。今後はこのテキストが実践者や研究者等の道しるべになると考えております。

最後に、昨年より将来の資格認定セミナーの開催に向けて委員会を組織し、継続的に協議を進めてきております。本年度はセミナーの開催に向けて、講義・演習・実技指導等の内容やポイント数、日程の検討、講師陣の資格認定等を行う予定でおります。また日本の中央に位置する静岡に実技指導等の会場になる「スヌーズレン実践研修センター」を新たに設置します。現在のところ、8月19日に神戸で第7回スヌーズレン研修会を開催する予定でおります。

お隣の韓国では、すでに50名以上の有資格者がおり、スヌーズレンがセラピーとして認知され国家資格として認定され、病院や施設等で実践されています。日本でも近い将来確かな専門性を有する実践者を養成していきたいと考えております。

今後とも、皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年1月10日

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所所長 姉崎 弘  
常葉大学教育学部教授  
国際スヌーズレン専門支援士  
前 ISNA-MSE International Board